



御前崎へ戻ってきてほしい 大切に育てたカメを放流

御前崎小学校の全校児童約250人が7月2日、下岬海岸で海上保安庁の職員や市ウミガメ保護監視員らと、自分たちで育てたアカウミガメの放流や海岸清掃を実施しました。

児童は「カメの成長に合わせた飼育は大変だったけれど、大切に育ててきた。また御前崎へ戻ってきてほしい」と願って放流し、体長25センチほどに成長したカメは、元気に海へ入っていました。



池新田高校の生徒とコラボ企画 マンガ版パンフレット

池新田高等学校美術部の生徒18人と市財政課が7月3日、公共施設の現状とあり方について市民に広く知ってもらうために、マンガ版パンフレットの作成を始めました。取り組みのスタートとして、市職員から公共施設の現状や課題などを聞いた後、グループに分かれて公共施設の改善点などについて話し合いました。パンフレットは平成28年3月までに完成する予定です。

王滝中から湧き水の贈り物 滝村を元気にしたい

御前崎中学校の姉妹校である王滝中学校（長野県）の1年生3人が7月14日、市役所を訪れ、御嶽山噴火災害の復興のために村の湧き水から作ったミネラルウォーター「銀河の雫」を市長に贈呈しました。試飲した石原市長は「この水と御前崎のお茶はよく合いそう。とてもおいしい」と笑みがこぼれていました。生徒たちは「王滝村は自然が豊かなところなので、ぜひ遊びに来てほしい」と話しました。



初めての原子力学習会 正しい知識を学ぶ

第一小学校の6年生児童119人を対象に、浜岡原子力発電所の歴史や仕組み、放射線の実態などの原子力に関する正しい知識を習得してもらおうと7月15日、「小学生のための原子力学習会」が同校で開催されました。市原子力政策室の齊藤誠室長と県原子力安全対策課の小沢謙一主査が講義し、児童らは「放射線について分かってよかった」「初めて知ることがあった」などと感想を述べました。